



暑さが続いていますね。全国の新型コロナウイルスの感染者が増え、園関係者の感染者も増えています。保護者の皆様には、健康観察等ご協力をいただきありがとうございます。現在流行しているBA5は感染力が強く、小児の感染者も増えています。症状は、倦怠感、のどの痛み、咳、鼻水、発熱などですので、鼻水や咳などの症状がある場合は、ご家庭での健康観察をお願いいたします。

## 現在のひまわり状況

- 鼻水・咳の症状のお子さんが、7月中乳児クラスで多くみられました。
- 下痢の症状のお子さんが、7月中乳児クラスで多くみられました。

## 夏の肌トラブル対処法

### 蚊に刺さ

大人が蚊に刺されるとすぐに腫れて、直に治ることが多いですが、小さな子どもは、刺されてしばらく経ってからびっくりするほど大きく腫れて水ぶくれができることもあります。掻き壊さないよう、早めに手当てをしましょう。

ケア

①刺された所を水で洗い流します。



②かゆみ止めを塗ったり、濡らしたタオルやハンカチで包んだ保冷剤などを当てたりして、かゆみを和らげます。



### あせも

汗を分泌する管に、汗の成分やほこりが詰まって炎症がおこった状態です。よくみられるあせもは、汗をかきやすくムシやすい部分に赤い小さなポツポツした湿疹ができて、かゆくなります。

ケア

シャワーなどで汗を洗い流します。外出時は汗の成分が皮膚に残らないよう、濡らしたタオルで汗を拭き取ります。

予防

汗をよく吸い取る綿の肌着やシャツを着せましょう。



### とびひ

皮膚を掻きむしって傷ができたところに細菌が感染してジクジクした湿疹（とびひ）ができます。とびひは感染力が強く、ひどくかゆいため、掻いた手で他の部分を触ると湿疹が広がります。

ケア

シャワーで皮膚を清潔に保ちます。掻き壊して広がらないよう、また周りに感染するのを防ぐためにガーゼなどで保護することがあります。

治療

抗菌薬の塗り薬を使います。よくなるなときは、抗菌薬の内服をします。

### 肌トラブルを防ぐために

- 皮膚を傷つけないように **爪を短く切る**
- かゆみをやわらげるように **冷やす、かゆみ止めを塗る**
- 治りが遅い、広がった、湿

## ～引き続き毎日の健康観察をお願いいたします～

★次の症状のいずれかがある場合は、**症状がなくなり、24時間経過するまで、ご家庭で様子を見て下さい。**

- 37.5℃以上の発熱
- 咳が出ている
- 機嫌が悪い・元気がない
- 食欲がない
- 腹痛・下痢・おう吐

★園児、園児のご家族がコロナ検査（PCR検査や抗原検査など）を受けた場合は、直ぐに保育園にお知らせ下さい。

★体調が悪い方は園内に入れません。園児の兄弟や保護者の方が体調不良の場合は、園内に入らず、電話でご連絡、ご相談下さい。

★お休み中の体調不良や内服中の薬がある場合は、職員にお伝え下さい。